

全国で「健康保険証存続」の声を！もう一押しだ 12/22 集会報告

同実行委員会代表 共通番号制度を考える会・静岡

私達は 9 月議会に「従来の健康保険証の存続を政府に求める意見書」を請願として出す計画を考える会メンバーでもある市会議員にお話ししました。市民運動の出す請願書は大体自民党の反対によって否決されるのが普通です。

市議によると、大多数の市民の声でも、請願が一度否決されると、一年間は同じ趣旨の請願は受け付けてもらえないルールになっている。否決されることを承知で提出するか、全会派が賛同できる文章を作り会派回りをするか、どうするかとの話になり、一年間後だと健康保険証廃止時期と重なり請願の意味が失われてしまう、あえて自民党に直接あたってみることになりました。大店法やコンビニ出店規制で共闘した、自民党重鎮の〇〇市議に会って全会派が賛成できる「健康保険証存続」の意見書採択に協力いただけないかとお話ししました。

最初は政府が決めたこと一地方の自民会派が「反対」することはできないとお話でしたが、多くの市民の声であること、〇〇市議なら意見集約もできるのではないかとお話しし、「やってみよう」と承諾してくれました。会派内でも賛否両論様々な意見があったようです。

その後、原文の「マイナンバー制度の重要性に基づいて」などの一文の削除を要望し、「マイナンバー制度の推進を意味する文言」の修正を加えたのち、全会派一団の意見書の採択にたどり着くことができました。本会議でも市議の質問に、難波市長から意見書と同様の答弁がなされました。

それを前後して、全国の地方議会でもおおよそ 100 議会が「意見書」を採択し、政府に「健康保険証存続」を要望しています。

東京新聞も 11 月 7 日朝刊で「地方議会から待った噴出」「全国から意見書相次ぐ、自民会派主導も」と報道されています。これには私たちの事前の行動は記事にされていません。

「市民運動と議会が連動する」勉強会報告の依頼も来ていて、少しずつ広がりを感じます。他の会派での勉強会計画も進めています。

私たちは毎月、街頭で宣伝活動もしています。「返納した」「頑張ろう」の声は日毎に増えています。もう一押しです。

他の市町の議員さんにも「健康保険証存続」の市民要望の声を議会に反映していくよう活動を強化していく所存です。

実行委員会参加・賛同団体 静岡県保険医団体連合会・共通番号制度を考える会
静岡中部地区労・静岡年金者組合・新婦人静岡